

第 432 回: 今春の国家／政府人事を読む

昨秋 10 月、中国共産党の第 19 期体制が発足し、第 2 期習近平体制の人事が明らかになった。

但し指導部人事で決まったのは、(総書記、常務委員を含む)党中央政治局委員をはじめとする共産党のリーダーのみであり、国家や政府の指導者は 3 月に開催される两会、即ち全国人民代表大会(全人代)と、中国人民政治協商会議(全国政協)の選挙や任命を待つ必要がある。

しかし共産党が政府や国家を指導する中国において、枢要なのは党人事であり、これが決まれば今春の两会で任命される国家や政府の指導者人事を読むのはそう難しくはない、ジグソーパズルが半分解ければ、あとの作業が一気に楽になるのと同じように。

中国の 14 億人を統馭する党中央政治局常務委員は①習近平(64)、②李克強(62)、③栗戦書(67)、④汪洋(62)、⑤王滬寧(62)、⑥趙楽際(60)、⑦韓正(63)の序列となっている。

このなかで習近平氏は党中央総書記兼務で国家主席に留任するのは確実。

国家主席は名誉職だが、共産党総書記が各国の国王や大統領と面談することに対する違和感を最近の中国の指導者は理解しており 1993 年以降、党総書記が国家元首である国家主席を兼務している。

チャイナセブンの 2 位と 3 位は、過去 30 年間、首相ないしは全人代委員長が勤めている。

従って理論的には、②李克強首相が今春全人代委員長に転出(実質降格)することはあり得る。

しかしそうなれば、消去法で③栗戦書が首相になってしまうが、彼にそんな識見も、経験も、学歴もないので、栗氏の全人代委員長就任は当確、従って李克強首相の続投は確定的。

党の序列 4 位は過去全国政協主席のポストを割り当てられており、④汪洋氏の新職務はこれで確実か？

同氏は改革派の代表で、最高指導部のなかで唯一習近平氏に対抗可能な逸材だが、習氏は共青团派の彼を「敬而遠之(=敬して遠ざけ)」、実権のない全国政協という神棚に祭り上げたい考えのようだ。

5 位は党中央書記処を指揮する筆頭書記の指定席、事実既に⑤王滬寧氏が任命されている。

同氏はプロパガンダを主管する「党中央精神文明建設指導委員会」の主任も兼務しており、更に政府や国家の要職(たとえば国家副主席)を兼務する余裕はないだろう。

次に序列は 6 位と下位だが、ここは時に首相以上に強大な権限を発揮する不正監視の規検委書記ポスト、昨年引退した王岐山氏が辣腕を振るった腐敗追放キャンペーンは未だ進行中である。

結果、予想通りに⑥趙楽際氏が王岐山氏の後継者となったが、彼は陝西省の党委書記のとき、習近平氏の実父・故習仲勲の墓を巨大な陵墓に改造、習一族は感涙に咽び、趙氏は大出世したと専らの噂。

さて最後が末席、⑦の韓正氏だ。彼は江沢民・元主席の側近として長く上海勤務が続いていたが、過去のアノマリーに従うと張高麗氏(前期⑦)の後任として李克強首相を補佐する筆頭副首相となる。

適材適所と云う意味では、汪洋が筆頭副首相もしくは国家副主席、韓正が全国政協主席に就任するのが妥当であり、汪洋を政協に回すのは惜しい人事ではある。

もう一つ気になるのが外事活動を主催する国家副主席人事、引退したはずの王岐山氏が(ヒラ党员)の身分で副主席に就任という「ウルトラ C 人事」の噂もあるが、そうでなければ汪洋・政協主席の兼務か？

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

人民解放軍の人事は次のとおり。(習氏以外は全て制服組)

党中央軍事委員会主席: 習近平

同 副主席: 許其亮(67 専従)、張又俠(67 専従)、

同 委員: 魏鳳和(63 専従)、李作成(64 聯合参謀部参謀長)、苗華(62 政治工作部主任)、
張昇民(59 軍規検委書記)

最近の軍委副主席は参謀長、司令官等のポストを兼任しておらず、許其亮(空軍上将)は留任、張又俠(上将)は軍委委員(兼)装備発展部長からの昇格。

軍事委員では、4名の委員の内、昇格組は李作成(上将)、苗華(海軍上将)、張昇民(上将)の3名、彼らは人民解放軍の最重要ポストである、作戦担当の「参謀長」、政治部門トップの「政治工作部主任」、そして軍部の司法を担当する「規検委書記」を兼務している。

残る魏鳳和(上将)は委員留任だ。ロケット軍司令官を後任に譲り、現時点では委員専従なるも、これは新ポストが空くのを待っていると考えべきだろう。

人民解放軍には参謀・政治・検査と並ぶ最重要ポストがある。即ち米国防長官に相当する「国防部長」、これで魏鳳和氏が今春の全人代で副首相格の國務委員(兼)国防部長に就任するのは当確となった。

経済金融関連では、昨年「権威人士」なる人物として人民日報に登場し、不良債権やデレバレッジに伴うリスクに対処すべきと李克強首相を批判したのが、習主席の親友で今般政治局委員に昇格した劉鶴(66)(党中央財經指導小組・弁公室主任)と云われており、彼の今後の処遇が注目されている。

劉鶴は次期中国人民銀行(中銀)総裁との噂もあるが、今春の引退が確実な馬凱(71)副首相が兼務している國務院金融安定発展委員会主任ポストを引継ぎ、同氏が副首相兼務で中国の宿痼、不良債権問題を指揮する可能性が高いとボクは考える。・権威人士の御手並み拝見だ。

中国人民銀行総裁の周小川(70)氏の引退も確実、有力候補は湖北省党委書記で、交通銀行と中国農業銀行の会長経験のある蔣超良(60)か、過去中国建設銀行の会長を勤めたことのある郭樹清(61)中国銀行業監督管理委員会主席の何れかだろう。(個人的には蔣氏だと思う)

不良債権問題の総指揮官は金融閣僚と中国人民銀行総裁であり、その人事が注目される所以だ。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成30年1月4日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

